

呼吸器領域での 診療、研究、教育



旭川医科大学病院呼吸器センター

教授 おお さき よし のぶ
大 崎 能 伸

大崎能伸教授は昭和55年に旭川医科大学を卒業した後、医学部大学院に進学した。大学院では、抗癌剤の肺癌細胞に対する作用機序の解析を研究テーマとした。大学院修了後は、肺癌の診療と基礎・臨床研究を中心に、呼吸器疾患全域にわたって研鑽を重ねた。昭和59年に旭川医科大学第一内科助手、平成9年に第一内科講師、平成17年に呼吸器内科長を任せられた後、平成20年に旭川医科大学での呼吸器診療部門として呼吸器センターが創設されて、初代教授となった。

診療面では、肺癌の全国的な大規模臨床研究に早くから参加し、小細胞肺癌の新しい治療の開発、非

小細胞肺癌の治療の進歩に結びつく研究に貢献した。また、呼吸器疾患でのコモンディージーズの診療の普及に尽力した。さらに、理論的な抗菌薬の使用法や、起炎菌の薬剤感受性を念頭に置いた呼吸器感染症の治療を解説してきた。研究面では、肺癌の生物学的特性を明らかにすることで、新たな治療戦略に結びつく基礎研究を展開してきた。その中には、epidermal growth factor (EGF) 受容体の高発現が肺癌での予後不良因子であること、bcl-2とp53の発現が肺癌患者の生存期間に相関すること、カエルの皮膚から分離された抗菌ペプチドが抗癌活性を持つことなど、高く評価されている研究が含まれる。平成12年には自家蛍光を内視鏡で観察する蛍光観察装置PDS-2000を開発し、その装置を用いた臨床研究を行った。

教育面では、呼吸器疾患について理解しやすい講義を行い、呼吸器専門医を目指す医師の増加に貢献してきた。

これら一連の業績により、呼吸器学会、肺癌学会など主たる呼吸器関連学会で、幹事、評議員、委員などの重要な役職を歴任している。

北海道医師会サポートセンターのご利用について

◇情報広報部◇

北海道医師会サポートセンターでは、本会提供のメールアドレスに関するご相談だけでなく、パソコン操作やインターネット利用に関する質問対応も承っております。日頃のパソコン利用におけるちょっとした疑問点やトラブル対応の第一相談窓口として、お気軽にご利用ください。

お問い合わせ例

パソコンをMacに変えたら使い方がよくわからない・・・ご利用方法をご案内
プロジェクターでパソコンの映像を映したい・・・ご利用方法をご案内
光電話ってどうしたら使えるの・・・光電話についてご案内、取次ぎも可能
エクセルの使い方がよくわからない・・・一般的な使い方であればご案内可能
サポートに来てほしい・・・駆けつけ業者を手配します(有料となります)

お問い合わせ先：北海道医師会サポートセンター（平日 8:30～12:00、13:00～17:30）

○TEL： 011-738-3401

○E-mail： support@hokkaido.med.or.jp